

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日	
議長	副議長	局長	次長	長	副主幹	担当	文書取扱主任									

第 5 回 経 済 建 設 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 23 年 9 月 26 日 (月曜日)	開会 9 時 00 分	閉会 9 時 45 分
開催場所	第三委員会室		
出席委員	山口、山本、坂井、小野、窪之内	事務局	中嶋事務局長
	議長、委員外～清水、木下		菊井次長
欠席委員	三上		原田主事
説明員	別紙のとおり	議 件	別紙のとおり
議 事 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 滝川市観光大使横綱白鵬関の来滝スケジュールについて		
	(2) 滝川どうぶつらんど展示動物の譲渡予定等について		
	2. その他について		
	・経済部より駅前再開発ビル活性化ビジョンの進捗状況について報告があった。		
	・事務局より常任委員会の道外視察の日程について報告があった。		
	3. 次回委員会の開催について		
	正副委員長に一任することとした。		
上記記載のとおり相違ない。 経済建設常任委員長 山口清悦 ㊦			

平成23年9月22日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成23年9月21日付け滝議第97号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

経済部長	五十嵐 千夏雄
経済部参事	千 田 史 朗
経済部商工観光課長	長瀬 文 敬
経済部商工観光課産業観光振興室長	浦 川 学 央

(総務部総務課総務グループ)

第5回 経済建設常任委員会

H23.9.26(月)9:00～
第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶 (委員動静)

1. 所管からの報告事項について

《経済部》

- (1) 滝川市観光大使横綱白鵬関の来滝スケジュールについて (資料) 産業観光振興室
(2) 滝川どうぶつらんど展示動物の譲渡予定等について (資料) //

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第5回 経済建設常任委員会

H23. 9. 26(月) 9 : 00

第三委員会室

開 会 9 : 0 0

委員動静報告

委員 長

欠席～三上。議長出席。委員外～清水、木下。北海道新聞の傍聴を許可する。

委員 長

1. 所管からの報告事項について

(1) について説明願う。

浦川室長

(1) 滝川市観光大使横綱白鵬関の来滝スケジュールについて

委員 長

(別紙資料に基づき説明する。)

窪之内

説明が終わった。質疑はあるか。

① 今回の来滝での経費総額を伺う。

② 白鵬のほかに経費の中で見るつき人なども含めた人、また経費で見なくてもついて来る人たち、それと報道機関への周知はどのようにしているのか伺う。

③ 市民交流事業を3回やるということだが、私は交流は終わってもいいのではないかという思いがある。本来は観光大使なので、滝川の中で白鵬に市民交流を詰めてもらうというのではない。そういう意味で、これはこれとして受けとめたとしても観光大使としての白鵬のこれからの予定はどのようになっているのか。収穫もあるので、そういう農産物の宣伝も含めた白鵬の今後の予定が決まっていれば伺う。

浦川室長

① 経費総額については、今年度実行委員会に対する交付金ということで580万円ほど予算化して、既に実行委員会のほうへ交付している。春に一部使用させていただき、残り半分強は予算的にはある。当初の実行委員会の予定ではこの市民歓迎パーティーというのを予定していなかったもので、これで600人前後の券売を予定しているが、これが実行委員会としての収入支出のほうに加わる形になるので、予算的には全体で四、五百万円はあるかと思う。春の段階でもそうだったが、旅費が予定よりも少なくなっているということがあり、今回も若干は旅費などの部分が安く上がるかと思う。

② 今回実行委員会の中で見る旅費としては、横綱本人と春も来ていただいたつき人大和田さんの分と今回親方もいらっしゃるのので3名分の旅費、交通費、宿泊費を実行委員会のほうで負担させていただく。それ以外の方については特に実行委員会としても、あるいは全体としても予定はしていない。ただ、国際交流の関係で大使館やJICAの関係の方がそれぞれの仕事の一環として見えるかもしれないということ伺っている。

③ 市民交流は3回ということだが、そのうち2回については横綱を市民でお迎えしたいという趣旨であることと、収穫祭ということで収穫祭の中に交流事業も加えたいということで考えている。8日の3時からの部分については、せっかく時間がとれそうなので何かできないかということで、横綱の得意なスポーツの関係で市内の学校等で交流ができないかと調整しているが、まだ具体的には決まっていない。本来、市外でいろいろPRしたいということもあり、今回もスケジュールに合わせて札幌や市外でPRできないかと日程を調整したところだが、横綱の時間的な都合等で市外でPRすることができなくなった。ただ、まだ余り詳しくは申し上げられないが、市内の特産品の商品化に向けたP

Rを収穫祭の中でしたいということで調整している。今回はそれが最も大きなものになると期待しているが、現時点で報告できる状況になっていないことを申しわけなく思う。それ以降秋口にかけて収穫したものを8、9日以外で本格的に売り出すことについても、今検討しているところである。また、詳細が決まったら報告させていただく。

窪之内

もともと観光大使にした目的はどこにあるのか。このイベントだけ見ると白鵬のためにお金を使い、市民に白鵬を知ってもらおう。知ってもらった上で白鵬がこの経費をかけた以上の効果を上げているという報告を今まで受けたことがない。なぜ親方の分まで旅費を持たなくてはならないのかということもわからない。横綱が来るということになれば、つき人も仕方がないとは思いますが、なぜ親方の分まで旅費を持たなくてはならないのか。全く関係ないのではないかと思います。観光大使は白鵬であって、部屋の一員ではあるが部屋は関係ない。このようなことを含めて観光大使になったというふうには私は理解していない。来るということであれば、親方は自分で来たらいいいし、白鵬本人が親方の経費を出してもいい。それと、これで四、五百万円収入を入れてお金を使っているが、ただ、観光大使として外部に滝川市を宣伝するという目的のスケジュールも含めてなかなか決まっていない。それで市の予算だけが出ていくというのは納得できないという思いがある。こうしたお金をかけた効果以上にテレビに出て白鵬が滝川を宣伝しているという思いもなく、白鵬に効果を出してもらった活動についてはどんなふうなことを考えているのかということがわからなくなってきたので、その辺を含めてお答え願う。

浦川室長

報道への周知についての質問に答えるのを忘れていた。報道への周知についてはスケジュールの詳細が決まったら改めて取材の依頼も含めて周知させていただきたい。前段で親方の旅費のことであるが、実行委員会に対する交付金の中で市で負担するのがいいのかどうかということもあるが、横綱含めて3名の部分を実行委員会で見るとということで交付金を申請している。1名はつき人、もう一名は前はマネージャーだったが今回は親方となる。3名までは実行委員会で見させていただいているが、それを超える分については前回の6月のときもそうだったが、奥さん、お子さん等については実行委員会では負担せず、横綱本人かあるいは別なところで負担していただくということで、3名までという考え方で進めている。それと費用対効果でこの事業の目的がわからなくなってきたというところは、今回は横綱の日程でこの時期に来ることになるが、実際地元特産品の販売をPRする時期とのずれというか、まだ公表できないところにあり、今回はそのスケジュールだけの説明ということにさせていただいている。観光振興というよりもどちらかというと物産振興で力を入れているところがあるので、10月9日以降、販売については11月になると思うが、そういったことに力を入れているということで理解いただきたい。

窪之内

観光大使の女性2人はきのうも丸加のほうに来ていたが、彼女たち2人にかけているお金から考えると物すごい莫大なお金を白鵬にかけている。もう2年目の半年を過ぎたので、当初の3年という予定で見ればあと1年半。やっている行事をマスコミが報道しているということでの滝川の宣伝効果があるということは否定はしないが、そういうこととは別に白鵬はどんな形で滝川を宣伝してくれているのかということの私の認知は低い。その辺でこの1年半の中でそういった観光大使として白鵬が滝川以外で、何らかの形でやったというのは聞いて

てもいるが、どういうふうな効果を上げられたと思っているのか。金銭的な評価も含めてしているのであれば伺いたい。まだ発表できないがことしは物産振興に力を入れていて、そういった形で効果が上がると踏んでいるということだが、その辺もスケジュールで話しているだけでまだ何も言えないことなのか、物産振興の中で何百万円、何千万円の売り上げを考えて滝川の物産を売ろうとしているのかということも少し見えてきていない。もう少し話せるのであれば含めて説明願う。今後の1年半の間においては、今後とも滝川に来るときには白鵬含めて3人分を見るという方向なのか。それで本当にいいのかという疑問があるが、ここで疑問があると言ってもどうなることでもないのでやめるが、そこを実行委員会の中で見直すということも今後はあり得るというふうに理解していいのか伺う。

五十嵐部長

まずいつも最低3人は来られるということは、最初に去年の春に来られた時に、横綱とマネージャーとつき人の3人で来られるということで横綱側の部屋から出るときはそういった2人がついて歩くということも聞き、来られるときには3人分ということで実行委員会の中で予算化をした経過がある。今回についてはマネージャーが来られないでそのかわりに親方が来られるということで3人ということになる。余談であるが、金曜日に市長、議長と本場所に行ってきたがそのときも宮城野親方が場内で解説をされていた。横綱を育てたということで相撲界でもそれなりの位置にいるし、横綱と合わせて宣伝効果という点でも、先ほどから言葉を濁して来滝されるときイベントの中身、物産振興をなかなか言えないけれども、実は、これまで白鵬米ということで田植えをしていただいているが、これらを商品化して販売できないかということで現在動いているところである。詳細を詰め切っていないのでなかなか発表できないし、説明もできない状況だが、来られたときに販売の記者発表をしたいということで取り組んでいる。東京で販売開始したいということで今詰めているが、なかなか詰め切れないので説明できないし、あるいは横綱が来たときに合わせて発表したいということで今準備しているので、ここでの説明はこれくらいにさせていただきたい。最終の詰めが終わり販売開始になれば東京で販売のPR、セレモニーもやりたいということで、その席には横綱、親方二人お越しいただければ宣伝効果も高いということで今準備を進めているところである。そういう絡みもあり今回親方も滝川にいらっしゃるということで理解いただきたい。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (1)については報告済みとする。(2)について説明願う。

(2) 滝川どうぶつらんど展示動物の譲渡予定等について

浦川室長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

小野

今の説明の中で譲渡することで考えていきたいということがあったが、考えていきたいという言葉は意味を含めていろんな立場で考えられるが、現在探していることで進んでいるのか、今の状態でとまっているのかその辺をはっきり聞きたい。

浦川室長

まず8月末の段階で調整させていただいたのが、道内の公的も含めた展示施設等にアンケート調査をし、それをもう一步進めて具体的にどの動物は譲渡できるかということで進めたのが別紙の状況である。別紙1については閉園後譲渡について具体的な日程等を調整して譲渡をしていきたいと考えている。89以外

の残った112頭羽の動物についてだが、8月末で締め切ったがそれ以外でもまだ話があるところもあるし、市内企業でどうぶつらんの動物を譲り受けて子供たちへの触れ合いをさせたいというところもあったので、そういった企業等も含めてまたさらに譲渡を進めていきたい。

委員長
窪之内

他に質疑はあるか。

- ① 残る112頭羽については市内企業や他の動物園との話し合いの中で担当としてはほとんどが譲渡されるというふうに踏んでいるのかどうか伺う。
- ② 引き取ってもらうということであれば、運搬賃などの経費はどちら側が見るのか。多分動物については無償だと思うが、経費についてはどちらがどういふふうに負担しようと考えているのか伺う。
- ③ 遊具が若干あったと思うが、その遊具の取り扱いはどのようにしようとしているのか伺う。
- ④ 本当に残った場合に殺処分はしないというふうに言っていたのでどういった形で管理するのかということが見えてこない。その112でどれだけ残るかということにも関係するのかもしれないが、一番危険なサルが残っているのでサルがいなくなればどうにかなるのか、触れ合いみたいな形で残すことは可能なのかどうか、その辺の見通しについて伺う。

浦川室長

- ① 残った動物112頭羽の今後の行方についてであるが、89は譲渡の話をしていただいたが、112についてはすべてというわけにはいかないというふうに考えている。
- ② 引き取ってもらうときの運搬等の経費負担についてであるが、どうぶつらんの臨時職員、担当職員の中で今譲渡のための準備を進めていて、通常予算の中でゲージの作成をしたり、運搬についても市のどうぶつらんどで使用している軽トラック等で担当職員が施設まで運搬するというので先方と調整している。
- ③ 遊具については市内の企業団体から幾つか引き取りのお話をいただいているので今後そういったところを含めて、市の備品であるので場合によっては入札というか競売のような形になるのか、あるいはもともとどうぶつらんども無料でいただいていた物もあるので、そういった備品の扱い、処分の方法について考えたいと思っている。
- ④ 残るのはほぼ確実だと思っているが、あの場所で集約したいと考えている。この112が幾つになるかはまだ見えていないが、ある程度まとめて飼育していきたい。その場合、公園条例の有料公園施設からどうぶつらんどを抜かさせていただき、市の公園として管理していきたいというふうに考えている。規模についてはもう少し時間をいただきたい。できれば新年度の予算では一部の解体費というか、施設を集約するための経費というような予算も計上させていただきたいと思っている。

窪之内

来年度からということ言えば遊具その他はまずは全部なくし、残った動物の飼育を一定の規模でやるということだが、ただそれをどういった形で市民に触れ合いの場として提供していくのか、それとも飼うだけで順次譲渡するところがあればということで、どうぶつらんどとしては終了させるわけだが、触れ合う一環として何らかの形で残すという考えなのかどうか伺う。

浦川室長

残った動物について、種類にもよるが触れ合えさせられる動物であれば公園の一機能として触れ合いの場を設けたいというふうに考えている。当然危険動物、

今サル等がいるが、今の施設は道の条例をクリアした施設になっているのであのまま展示して、有料施設としてのどうぶつらんどは廃止するが公園としては残そうと思っているので、一般市民が見たり触れ合えたりするようなものに、動物は少なくなるが、そういう形で飼育は続けたいと思っている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) (2) については報告済みとする。

2. その他について

千田参事

今回の報告事項には入っていないが、現在進めている駅前再開発ビル活性化ビジョンの進捗状況である。あす、9月27日ビジョンの取りまとめということである程度一定の取りまとめがなされると思う。最終調整についてはまだ少し時間がかかると思うが、その状況の中でビジョンの最終版ではないかもしれないが取りまとめ次第経済建設常任委員会のほうに資料配付させていただきたい。個人情報との関係は活性化ビジョンの委員長と相談しながら、個人情報を除いて情報を開示したいと思う。先日の議会で答弁したが無償譲渡の条件についても、これについては先日の市長の答弁を含めて10月には経済建設常任委員会のほうに条件としてこういう条件を出したいというものを示させていただきたいと考えているのでよろしく願います。

委員長

活性化委員会の取りまとめの報告は時期的には10月の経済建設常任委員会と同時期に出るのか伺う。

千田参事

今の取りまとめは、実は大方取りまとまってはいる。ただ、内容的に委員長のほうでもう一步踏み込みたいという部分も言われていたので、今の状況、差しかえになった場合はまた委員会のほうに資料提出させていただくが、ある程度取りまとめができた段階で資料配付をまずさせていただきたい。10月にはお示しできると思っている。委員会にも間に合わせたい。次の委員会というのはいつかはわからないが、それまでにはある程度の資料を配付させていただきたいと考えている。

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

窪之内

① 活性化ビジョンの策定委員会の委員長に個人情報の開示についてを確認した上でというふうに聞こえたが、この委員会では個人情報の分も含めて全部明らかになっているのかどうか伺う。

② 本会議ではあのような答弁はやむを得ないというふうに私も思うが、譲渡条件の中に議会が判断する上で、無償譲渡だけれど今後、莫大な市の経費がかかるということが予想されれば、その相手がどのような相手であるのかということ判断するためにも税金の滞納がどんなふうに扱われてきたのかということは条件を判断する上では欠かせない事項の一つだと考えている。公開する必要はないと私は思っているが、非公開などの形でそういうことを開示することについて何か検討されているのか伺う。

千田参事

② 税の関係については先日の答弁があったので庁内プロジェクトの中で検討させていただきたい部分である。

① 先ほど私が個人情報と言ったのは、委員会の中で個人名であるとかいろいろなものが出てくる。そういう個人的な部分については省かせていただきたい。税の関係については今回答弁を差し控えさせていただきたい。

窪之内

① 委員会の中で出てきた個人名は隠すが、だれかがこういう発言をしたということは載せて、名前だけ外すということなのか。いろんな意見が出てきたわけで、そういった意見を言った人たちの名前は隠すけれども内容については出

てくるということなのかどうか。教育委員会が何かでいろいろやっている場合には個人名は出てこないがこういう意見が出たというのはずっと開示されてきていると思うので、そういった開示を望みたいと思うがいかがか。

② 税の関係で庁内プロジェクトの結果が出れば、その結果についてはどういった方向になるのかということが示される時期について伺う。

千田参事

① どの委員が何を言ったか、個人名を出してという部分については、委員長に諮ってできる限り開示したいと思っている。ただ、委員長がどこまでという部分もあるので、それについては私どものほうに任せていただきたい。

② 庁内プロジェクトであるが、先日副市長のほうから答弁させていただいた部分については近いうちに庁内プロジェクトを開催すると思うが、その中の検討ということで、まだ明確な判断をしていないので了承願いたい。

委員長

他に質疑はあるか。(なし) この件については報告済みとする。事務局より行政視察の説明がある。

原田主事

経済建設常任委員会の道外視察の日程は10月17日月曜日から20日木曜日までである。18日13時30分から香川県高松市の高松丸亀町商店街振興組合において高松丸亀商店街について、19日午前中に大阪府堺市役所において堺市環境モデル都市行動計画について、20日午前中に大阪府門真市の中西農園において高付加価値農業の取り組みについて視察を行う。あいている時間については現在検討中である。

委員長

概要が配られたが、何か意見あるか。

窪之内

空き時間は検討中ということだが、検討して視察が入るといことも考えられるのかどうか伺う。

委員長

視察を入れるほどの時間はないと思う。

窪之内

18日は丸亀に行くのにそんなに移動の時間はかからないと思う。午前中を空き時間にするのはもったいないという気がする。

委員長

候補として探しているところがあるが、そこへ行き帰りの時間をとると戻って来るのが大変かと思う。近辺で視察の受け入れをしてくれるところがあれば探してみる。

窪之内

高松から岡山に移動するのは公共交通機関か。

委員長

高松から岡山までは瀬戸大橋で列車を使用する。休憩する。

休 憩 9 : 4 3

再 開 9 : 4 5

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。この件については報告済みとする。

3. 次回委員会の日程について

委員長

正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし)以上をもって第5回経済建設常任委員会を閉会する。

閉 会 9 : 4 5